

平成26年度

事業計画書

公益財団法人 室蘭テクノセンター

地 域 概 況

東日本大震災からの復興が加速されるなかで、日本経済はデフレからの早期脱却と経済再生の実現に向け、様々な施策が展開され、景気は緩やかに回復しているが、本地域では、地域企業の事業転換や縮小などもあり、地域企業の隅々に効果が及ぶ状況にはありません。

このような中、地域中小企業としては、これまで培ってきた基盤技術のさらなる高度化と企業収益の維持・向上を図るためのコスト削減、効率化、積極的な市場開拓、新技術の開発、さらには新製品の市場投入など、新たな活路を求める取組みが急がれます。

当財団は、こうした企業の取組みへの支援を進めて参ります。中でも、新製品・新技術開発のコーディネート・事業化までのプロデュースや新規顧客開拓支援などを推進するとともに、行政機関、連携協定を結ぶ室蘭工業大学や地域金融機関と共同による中小企業支援等を実施して参ります。

事 業 概 要

1. 技術・製品開発等支援事業として、ものづくり創出支援事業による製品・技術研究開発の支援を行うなど、地域の技術・製品開発の推進を図ります。
2. 産学官連携支援事業として、室蘭工業大学地域共同研究開発センター内「産学官連携支援室」の活用促進を図るとともに、産学交流プラザ「創造」の運営支援等による地域と大学との交流促進、さらに、地域のものづくり産業力強化推進事業による、産業界・大学・研究機関との連携強化、地域の産業創出に向けたプロデュースの推進を図ります。
3. 中小企業支援事業として、中小企業の経営改善・事業再生など経営力の強化を図るための支援を行います。また、技術・経営・特許やコスト削減などの幅広い範囲で、相談・指導・企業訪問によるニーズ把握を実施するほか、室蘭地域の企業紹介のための企業訪問を行うなど、新たな取引先の開拓を支援します。

平成 26 年度 事業計画

【公益目的事業】

1 (公 1) 地域産業振興事業

地域中小企業のものづくり技術力の高度化と企業収益の向上のため、技術開発、人材育成、産学官連携等の支援により「地域産業振興事業」を行う。

I 技術・製品開発等支援事業

地域全体の技術・製品開発の向上を図るため、製品・技術の研究開発費等に対して助成を行う。

①ものづくり創出支援事業

(a) 開発の芽育成支援事業

事業化の可能性のある製品・技術の新規開発又は大幅な改善に対する調査研究や基礎技術確立を支援します。

(b) 製品・技術事業化支援

市場投入の実現性が高い新製品・新技術の開発又は既存製品・技術の大幅な改善を行う研究開発を支援します。

(c) 商品化推進支援

消費者ニーズ調査などの需要調査、デザイン開発・改善等や食品に関する開発を支援します。

(d) 市場開拓支援

製品紹介のホームページ・パンフレット作成、製品や技術を紹介する展示会の出展、公的商談会又は同等の商談会等への参加を支援します。

(e) ものづくり創業支援事業

新たにものづくりに関する事業を展開する企業の事務所経費等を支援します。

(f) ものづくり技術・技能習得研修支援

技術・技能・デザイン開発等の習得のための先進企業や試験研究機関への技術者の派遣又は専門技術者の招聘等による人材教育、研修等を支援します。

(g) ものづくり資格取得支援

製造業に係る技能士等の資格取得のため、その経費を支援します。

(h) 検査測定支援事業

製品・技術の開発に伴う性能試験のために行う外部の公設試験研究機関での検査・測定を支援します。

II 産学官連携支援事業

産学官連携による新たな地域産業の創出及び事業化等を図る取組みを推進するため、技術検討会の開催や技術アドバイザーの派遣、展示会等を開催による情報発信等を行う。

①地域のものづくり産業力強化推進事業

平成 25 年度から 3 か年で、地域中小企業の自立化促進、新規市場開拓並びに事業化開発等を支援する。

(1) ビジネスコーディネート強化事業

情報通信・機械等分野の高精度加工技術及びその制度測定技術、プラスチック・セラミック等のマテリアル分野の表面処理技術及び再生可能エネルギー分野の木質ペレットストーブの事業化及び温泉地域の未利用エネルギー活用技術の 3 つのテーマの調査・研究を効果的に・効率的に推進する。

(2) 技術高度化・事業化加速事業

再生可能エネルギー分野の木質ペレットストーブの基盤技術の高度化や製品研究等の技術開発プロジェクトの立ち上げを行う。

(3) 受注・取引拡大促進事業

受注・取引拡大のための市場開拓等の支援を実施する。特に展示会（はままつメッセ等）への出展を促すと共に、付加価値を高めるための新たなネットワークを形成し、新規市場開拓を支援する。

(4) 地域企業の技術力の向上のため、技術研究会を開催する。

②新分野展開推進事業

(1) フロンティア技術検討会の開催

室蘭工業大学地域共同研究開発センター（CRDセンター）らと共催で開催します。

開催時期 平成26年10～11月（予定）

(2) 産学官連携支援室

室蘭工業大学と企業との産学連携を推進するため、室蘭工業大学地域共同研究開発センター（CRDセンター）内に開設している「産学官連携支援室」へ産学官連携支援コーディネーターして職員を配置し、大学との連携を強化します。

- 大学と地域企業等との共同研究支援業務
- 受託研究等の斡旋
- 産学連携プロジェクトの企画・推進支援

(3) 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」の運営支援を通じ、会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教官ならびに他地域の異業種団体との交流を行い、経営者、大学教官の人的ネットワークを形成する中で、新たな共同研究の発掘、新商品共同開発への取組み、人的交流関係を築きます。

③地域技術・製品啓発支援事業

(1) 企業技術・製品展示会等の開催

地域企業の技術や製品を広く地域住民に公開し、室蘭地域の「ものづくり力」を実感してもらう展示会等を開催します。

(2) ビジネスEXPOへの出展支援

ビジネスEXPO（北海道技術・ビジネス交流会）に参加し、地域企業の技術や製品等のPRを支援します。

Ⅲ 中小企業支援事業

企業経営の安定化、活性化、再生等に対する支援のため、財団担当者が個別相談等を行う。

①市場開拓支援事業

(1) 道内外新規受注開拓支援

(公財)北海道中小企業総合支援センターと連携し、首都圏在住の広域専門調査員の情報を活用するとともに、室蘭地域の企業紹介のための企業訪問を行うなど、新たな取引先の開拓を支援します。

(2) 受発注情報活用支援

首都圏などの受発注情報の提供や商談取引の増加を促進するため、(公財)北海道中小企業総合支援センターの取引支援広場等受発注情報サービスへの登録を、当財団ホームページを通じて支援します。

②中小企業力向上支援事業

(1) 技術・経営、特許相談

ビジネスコーディネーターグループの専門家による技術・経営、特許等の相談指導、各種支援制度の紹介及び申請指導を行うほか、大学・研究機関への仲介を行います。

(2) 地域企業訪問ヒアリング

企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行うほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行います。

(3) 省エネ診断

中小企業の工場、事務所などの省エネ診断を行い、経営コストの軽減に向けた支援を行います。

(4) 室蘭地域産業支援連携協定に基づく中小企業支援

本財団と※地域5金融機関及び室蘭工業大学で締結した、おのおのが連携し地域産業を支援する旨の協定に基づき、中小企業の経営・技術等企業課題の解

決を図るほか、国や北海道からの補助事業採択に向けて支援します。

※ 金融機関

室蘭信用金庫・伊達信用金庫・北洋銀行室蘭中央支店・北海道銀行室蘭支店・
日本政策金融公庫室蘭支店

(5) 研究、研修施設等の貸し出し

中小企業力の向上を目的に、中小企業や中小企業を支援する団体等に研究、
研修施設を貸し出します。

【収益事業】

1 (収 1) 受託事業

I 室蘭職業訓練協会受託事業

職業訓練法人室蘭職業訓練協会の受託事業として、協会の運營業務及び協会
に加盟する建築・塗装・板金・左官・電気事業組合の各団体に所属する会員の
技能向上訓練を主目的として、技術・技能修得等を支援します。

平成26年度事業体系図

公益財団法人 室蘭テクノセンター

